

「第 1 回 宇治支援学校学校評議員会議 報告」

平成 23 年 6 月 3 日（金）本校にて「第 1 回宇治支援学校学校評議員会議」が行われました。

宇治支援学校は、学校の教育活動を学校が自己評価するとともに、常に保護者及び地域関係者に公開し、評価を得ることから、地域に根ざした学校経営を推進するとともに、常に学校経営及び授業の改善を図ってまいります。

学校評議会を母体に、福祉・行政関係者を含む学校評価会議を設置し、教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価を行います。また、学校評価会議に定期的に外部専門家（大学等に所属する教育・学校経営に関する専門知識を有する者）を招へいし、「第三者評価」を行ってまいります。

今年度の学校評議員さんの紹介と合わせて会議の結果をお知らせします。

平成 23 年度学校評議員名簿

区分	氏名	役職
地域関係	川越 清	広野地区 自治会長
地域関係	池谷 宏	東広野地区 自治会長
学識経験者	相澤 雅文	京都教育大学 准教授
教育関係	川野 智	宇治市立大久保小学校 校長
労働関係	向井仲 和美	京都経営者協会 専務理事
福祉関係	西山 治	社会福祉法人宇治東福祉会 常務理事
保護者関係	望月 幸子	桃山養護学校 元 PTA 会長

今回の学校評議員会議は、開校初年度ということもあり、「宇治支援学校の教育についての理解を図る」「今年度の経営方針を伝える」ことを目的として開催いたしました。

会議としては、

- ① 「宇治支援学校の教育」の説明
- ② 「23 年度の経営方針・重点」の説明
- ③ 授業参観・施設見学
- ④ 協議

が行われました。

協議において評議員の方からの意見を掲載します。

【地域関係の評議員の方から】

○公開避難訓練

- ・地域でも防災訓練を行っているが、避難の仕方が大切。
- ・自治会では、自主防災組織を作っている。避難には、1次避難と2次避難がある。
- ・避難場所としての学校の役割を検討しておくことも大切。

○スクールバス

- ・8台のバスの発着による渋滞については、苦情は今のところ聞いていない。

【教育関係の評議員の方から】

○教育目標

- ・子どものできることを大人が壁を作って可能性を閉ざしてしまっていることがある。
- ・自律という考え方とその具体化に期待したい。

○地域・地域学習

- ・宇治市に支援学校ができたこと、山城圏域にSSCがあることを有効に活用したい。
- ・宇治市の文化でもある「茶」の取り組みを今後も進めていただきたい。
- ・宇治支援学校の特徴ある取り組みの「地域学習」の授業形態に期待したい。

【労働・福祉関係の評議員の方から】

○移行支援・高等部学習

- ・学校の施設や教室を見て、新しい教育を感じた。
- ・在校生が社会に出て行く準備を、個人の適応能力の差に応じて指導をお願いしたい。
- ・「5名就労」の数は、職業コースとしては意味がある。
- ・カフェや地域文化学習室の活用について期待する。

【保護者関係の評議員の方から】

○保護者へ

- ・以前落ち着いて学習できなかった子が、落ち着いて座って学習している。
- ・現在の学校の様子や、子どもたちの姿を伝えるべき。
- ・伝え方に工夫や努力がもっと必要。

これらの意見をふまえ、地域に貢献できる学校としてさらに授業改善に取り組んでいきたいと思えます。次回の評議員会議は9月の予定です。